

高北維新

第62号



春号

発行日
平成29年
4月10日

第30回高知県国保地域医療学会に参加しました。

看護局長 真辺 千穂

第30回高知県国保地域医療学会は「これからの地域医療・ケア」災害時の在宅医療をメインテーマとして、高知医療センターくろしおホールで開催されました。

研究発表12演題、西山謹吾先生の特別講演、パネルディスカッションと、興味深い活動報告や白熱した意見交換が行われました。

看護部会の研究発表は5演題で、昨年に引き続き座長を務めさせていただきました。

馬路村立馬路診療所は多職種との共同研究で、南海トラフ大地震に備え「診療所で災害訓練を行うことによつて次につなげる」として、自主防災会とともに救護所訓練を行い防災意識・応急処置向上を図り、診療

所が各組織・人々をつなぎ発信して村民全体と災害対策に取り組む発表がありました。質問には、発表者に加えて、保健福祉課長・町長からの応答や発言もあり、馬路村が一体となった地域包括ケアシステムの姿に圧倒されました。

これが、国保診療所・病院の使命である地域包括医療・ケアの実践として期待される姿なのだと感じました。

仁淀病院は「外来・病棟看護師間で継続看護に役立つ患者情報」として、在宅を見据えた一貫性のある看護の提供のために、3年前から取り組んでいる外来看護記録について、継続看護に役立つ情報を明らかにした発表でした。

外来看護師は、受診前の病状トリアージや検査説明、医師への直接補助、処置中

の観察、療養相談や指導、フットケアなどに、各診療室・処置室・救急室へと移動し続けるため多くの記録は残せませんが、長年通院している患者さんの「暮らしているなかでの医療のありよう」は十分に把握しているため、外来看護だけでなく病棟でのケア・在宅移行支援や在宅支援に活かす看護情報としても新たな可能性を広げると感じました。

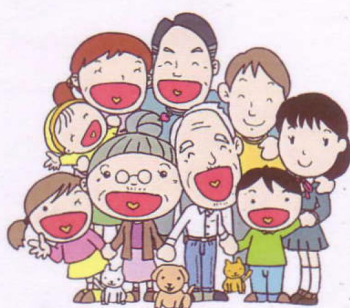
そして、最も印象に残ったのは、医師と共同研究した大月病院の演題で「みんなで取り組む「おもてなしの心」」でした。

来てよかったと言ってもらえる病院を目指してみんなで取り組んでいるが十分こたえられていないと感じた現状から、平成25年から患者さん満足度調査を実施し、接遇研修などを経て平成27年にアンケートの比較検討を行った研究で、相手に対する思いやりと、身だしなみや言葉遣いなど日常から意識的に取り組む姿勢を学び自己評価を継続して

「本当にきてよかった」と言ってもらえる病院を目指していきたいと結ばれていました。

地域に育てられ応えたいと努力を続ける取り組みに職員のひたむきな地域への愛情を感じました。

また、四十市立市民病院での活発で質の高い取り組み「これからの糖尿病チームの在り方」や、四十町国民健康保険十和診療所の医療とのシームレスな介護保険情報システムに関する「どうなつちゅうが??」この患者さんの介護保険など、研究演題それぞれが高知県のすすめてきた「日本の長寿県構想」の実践と言える取り組みで、全ての演題に地域医療への熱意が満ち会場も一体となった素晴らしい学会でした。



新任医師ごあいさつ

みなさんこんにちは
内科・消化器科の

渡部 千秋です。

平成20年から一昨年まで
高北病院で勤務し、その後
週一回内視鏡検査をさせて
いただいたおりましたが、
この度4月より高北病院内
科に常勤として復帰するこ
ととなりました。

内視鏡検査はもちろん外
来診察、訪問診療もさせて
いただきます。

昨年は週一回の勤務日に、
定期的に診察や検査で受診
された患者様からお声をか
けていただくことがありま
した。

「元気にしてるかね。」
「また、そろそろカメラた
のむで。」その一言が大変
嬉しかったです。

地域に根ざした病院だか
らこそその出来事だと思い
ました。

高北病院は、地域の多く
の方に利用され外来患者数
も入院患者数も比較的多い
病院です。

それは、医師を始め看護
師、コメディカルスタッフ

の質が高く、チーム医療を
実践していく中で各職種間
の連携体制が素晴らしいか
らだと思います。

患者さんが入院されたら、
医師の治療が始まると同時
に退院支援のための活動が
始まります。

早期からリハビリを導入
し、リハビリの進み具合、
全身状態を院内の各職種で
共有しあうカンファレンス
を開き、退院後の生活支援
のため院外のケアマネジャー
や施設関係者、家族と連絡
を取り合っています。

早期退院に向けた素晴ら
しい取り組みだと思います。
私もチーム医療に参加し
地域の皆様に貢献できるよ
う、頑張っていきたいと思
います。

これからどうぞよろし
くお願いいたします。



内科 森川 慶
(もりかわ けい)

4月から内科勤

務で赴任いたし
ました森川慶と
申します。どう
ぞ宜しくお願い
いたします。



福岡市で生まれ育ち、平成19
年に防衛医科大学校を卒業後、
2年間の初期臨床研修を経て、
卒後3、4年目は熊本保健衛生
院屯地にある西部方面衛生隊の医
官として勤務し、研修先の熊本
地域医療センターでは呼吸器内
科にて気管支鏡と肺がん診療を
学ばせて頂きました。

東日本大震災では災害派遣要
員としてのべ2カ月間、気仙沼
で働いたこともあります。

その後5、6年目は防衛医大
OBがスタッフで勤務されていた
聖マリアンナ医科大学病院呼吸
器内科に所属し専門研修として

修了しました。

7、9年目は埼玉の朝霞駐屯
地で対特殊武器衛生隊の診療収
容班長として勤務しました。生
物剤テロなどを対処する部隊で、
今後オリンピックのテロ対策等
も任務の一つとなるかもしれま
せん。

そうこうしているうちに卒業
後9年が経過し、義務年限が終
了したため1年前に自衛隊を退
職し、専門研修でお世話になっ
た聖マリアンナ医科大学病院へ
就職いたしました。

現在は目覚ましい進歩を遂げ
ている肺癌診療を中心に、呼吸
器疾患全般を診療しています。

また見た目に反し音楽が好き
でして、大学時代に創設したオー
ケストラ・マトリョーシカでの
音楽活動を現在でも細々と続け
ております。

4月、6月の短期間ではござ
います、地域医療に貢献でき
るよう一生懸命精進したく存じ
ます。何かとご迷惑をおかけす
るかと思いますが、宜しくお願い
いたします。

節分の日に豆まきをしました！

デイサービス斗賀野荘



第4回

高北病院健康フェア

日時：平成29年6月17日(土)

8時30分～12時30分

場所：高北病院

今年の注目は…

ノルディックウォーキングと物忘れ度チェック!!

糖尿病の検査「ヘモグロビン A1C」や毎
人気の脳年齢、骨密度もあります。

皆さん来てくださいね。お待ちしております♡

高北病院健康フェア

【ノルディックウォーキング体験】

*抽選 30 名限定 事前申し込みが必要です

集合場所：佐川町役場

時間：8:00～9:30

ストックを使って歩く
ことでいつものウォーキング
が全身運動になる
ノルディックウォーキング。

講習のあと、血圧測定をして
高北病院までウォーキングをします。
さらに、病院へ着いたら血糖測定!!
ウォーキングをし方のみの特典です。
ぜひ、ご参加ください。

高北病院健康フェア

【物忘れ度チェック】

場所：高北病院

時間：8:30～12:30

パソコン画面を使っ
て、質問に答える形式
です。

高北病院健康フェア

【講演】

テーマ：血圧について

講師：太田喜久子医師



このたび3月31日をもって高北病院を任期満了により退
職いたしました。
3カ月の短い任期ではありましたが、いろいろと不慣れ
な部分を皆様方ご手厚くサポートいただき、お蔭で大過
なく職務を全うすることが出来ました。
心から感謝申し上げます。有難うございました。
この機会に高知の風物に触れることができたのも、
よい経験として大切にさせていただきます。
今後の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げお礼のこ
あいさついたします。

退任医師 あいさつ

内科 殿岡 久美子